

一 般 質 問 通 告 表

平成28年第1回始良市議会定例会（3月7日（月） 午前10時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 和田 里志	1. 2期目前半の総括と課題について	<p>市長はその1期目を、合併の影響がマイナスに働かないように、旧町の施策も大事にしながら市への転換を図り、行政サービスの多様化、新生始良市としての発信機会を逃さないことも念頭に、確実に次のステップへ向けた下準備を進めてきた4年間であったと振り返った。</p> <p>2期目のスタートでは、本市にはとても良い風がふいており、今を好機と捉え、そのまちづくりは、暮らしやすさに配慮した生活基盤に係るものと、「ふと」思い出す「まち」の風景が、市としての風格を感じさせるものでなければならない。</p> <p>平成27年度以降は、これまで取り組んできた施策の一つ一つが具現化し、市としての形が次々と目に見える形になってくるため、その状況に応じて報告しながら、それらの施設が有効に活用され効果を発揮するように施策を進めてまいりたいと述べた、そこで以下について問う。</p> <p>(1) これまでの施策の成果をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 見えてきた課題とその解決策の決意について。</p> <p>(3) 市民の声をどのように市政に反映させてきたか。</p>	市 長
	2. 施政方針と当初予算案について	<p>市政運営の基本方針で、60年ぶりに巡ってきた干支「丙申」の文字が意味する「果実が成熟し、固まっていく状態」すなわちこれまでの頑張りが形になっていくと表現し、県内5番目の</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 人材育成と管理職等の内外公募について</p>	<p>市としての風格は整いつつあるが、それに甘んずることなく、引き続き積極的に市政を推進すると述べた、そこで以下について問う。</p> <p>(1) 特に重点的な施策と新規事業は何か。</p> <p>(2) 廃止及び大幅削減した事業はあるか。</p> <p>(3) 各部課の予算要求額とその達成率はどのくらいか。</p> <p>(4) 部課単位による「枠配分」の規模と実施状況は。</p> <p>(5) 合併算定替の段階的縮減に伴う普通交付税減額の規模とその影響は。</p> <p>(6) 喫緊の課題、将来に向けての重点施策について。</p> <p>(7) コミュニティFMラジオ局の開設と今後の運営、活用について。</p> <p>(8) 市民総ぐるみによる協働の子育てを実現する具体的な施策は。</p> <p>民間企業では、希望するポジションや特定のプロジェクトに社員が自ら手を挙げて、異動することが出来る社内公募制度を導入したり、内部の人材育成だけでは得られない有為な外部人材を活用しているところも増えている。このような制度の導入目的は一般的には社員の意欲向上、人材育成、優秀な人材の流出防止といったところにあると思われ、さらに自分が望む仕事をやる方が意欲は高まる上に、自ら手を挙げた以上、責任を持って仕事を全うすることも期待できると言われている。</p> <p>行政の高度化、多様化、グローバル化などが進展していく中、これら時代の変化に的確に対応して、市民の期待</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>する行政を遂行していくために、公募制度やF A制度を活用し、一定のポジションの仕事を公募し、職員が自律的に仕事を担うことにより職員のやる気や才能を掘り起こすといった仕組みがあっても良いのではないか。</p> <p>このような内外に目を向けた人事制度の充実により、新規採用ばかりでない人材の確保も可能になると思われる。本市での人材育成の状況、これらの考え方について問う。</p>	
2. 湯川 逸郎	<p>1. 障害児・障害者福祉行政について</p> <p>2. ゴミステーションでの資源物収集の改善について</p>	<p>(1) 現在、始良市内の、障害者手帳の所持者数を各々問う。</p> <p>(2) 平成17年に、発達障害者の自立や社会参加など生活全般にわたる支援について定めた発達障害者支援法が制定されている。子ども一人一人の特性を理解し、個性を伸ばす環境づくりが必要であると思うが、本市では、どのような施策がなされているのか。</p> <p>本市においても急速に高齢化が進む中、高齢者や勤めに行かれる方々の弱者に視点をおいた、ゴミ行政は最大の福祉の原点であると考えます。</p> <p>資源物収集の改善をめざして、モデル地区を何か所か定めて、昨年行われたが、収集の改善ではなく、ただ収集場所を一か所から数か所に増設しただけのものであった。</p> <p>その後、アンケート調査がなされ、結果として、現状のままで良いとの発表があり、その理由として、場所が多くなると当番が負担になるという事である。この事を市長はどのように捉え</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 「中学3年生まで、医療費の無料化」について	<p>ているのか。</p> <p>この件は前回の議会（一般質問）の市長の答弁で「予算でお示しする。」と明言されたが、今回の「平成28年度当初予算に掲載されていない。また、実施計画には明示されているが、新年度のいつの時点で、予算計上され実施される予定か問う。</p>	市 長
3. 田口 幸一	<p>1. タクシー券の発行について</p> <p>2. 野猫対策条例制定について</p> <p>3. 思川のよごれ対策について</p>	<p>高齢者や障がい者から、病院や買い物に行く時、タクシー券を発行してもらいたい、との声を聞く。</p> <p>(1) 他の自治体ではすでに発行している市があるが、このことをどのように考えるか。</p> <p>(2) このような声が当局には届いていると思うがどうか。</p> <p>(1) なぎさ公園その他で多くの猫が生息している。複数の方々が「えさ」「食物」を与えておられるが、このことをどのように考えるか。</p> <p>(2) 動物愛護の視点から、どのように考えるか。</p> <p>(3) 条例制定がある自治体は、どのようにになっているか。</p> <p>(1) 2級河川思川は、きたない。県内一きれいで美しいまち、くらしやすい始良市となっているが、どのように考えるか。</p> <p>(2) 下流は霧島錦江湾国立公園に指定されている。どうにかならないか。</p> <p>(3) 思川漁協との関連は、どのようにになっているか。</p> <p>(4) 8・6災害の記憶はどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	4. 平松地区の企業から流れる排水対策について	(1) 山ノ口、原方地区の側溝はよごれて、くさい。どうにかならないか。 (2) 過去において、特定の行政指導をしたことがあるのか。	市 長
4. 森 弘道	1. 結婚、出産、育児、子育ては始良(愛ら)で!!を最上位目標に掲げ、県内一暮らしやすいまちを目指したらどうか	<p>国の創生事業により、各市町村が取り組む事業はあまり変わりはないと思う。国の政策源流(東京一極集中の大川)が地方の各支流として流れても、同じような問題を抱えた市町村で取り組む事業は、大なり、小なりで変わりはないと考える。</p> <p>限られた日本の人口を分散し、地方で社会保障制度を負担するようなことになれば、地方の財源は破綻する。</p> <p>まち・ひと・しごとの基礎・基本となるのは「人」であることに変わりはないが、それは若者・子育て世代がいてこそ、まちは潤い発展する。</p> <p>人口増に伴う政策は概ね、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子どもを増やす—子育て支援 ②寿命を延ばす—医療技術の進歩 ③転入を増やす—暮らしやすさ ④転出を減らす—若者の定住促進 <p>などである。若者・子育て世代を増やし、定住することが、まちの原動力としての基盤であり、そのことが全ての施策の礎となる。</p> <p>(1) 結婚、出産、育児、子育ては、始良(愛ら)でを最上位目標に掲げ、県内一の事業を先陣を切って始めたらどうか。</p> <p>(2) 国の施策、事業に始良市独自の事業を加えて融合させ、子育て世代の若者に対する魅力ある有効な施策、事業を取り入れることを始めた</p>	市 長 教育委員長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>らどうか。また、子育ての環境整備を市独自で何か考えているか。</p> <p>(3) 結婚、出産、育児、子育てについて、県内一を目指して取り組んでいる事業があるか。また、他市町に比較して優位に取り組んでいる事業は何か。</p> <p>(4) 平成25年度に子育て基本条例が制定されたが、具体的な成果、効果が表れているか。また、課題となっているものは何か。</p> <p>(5) 核家族化が進み、現在80パーセントを超えていると言われる。3世代の家庭の構築について、どのような認識をもっているか。また、過程の教育力の向上、規範意識の醸成、学校、家庭、地域が一体となった学校づくりはどのように勧められているか。</p> <p>(6) 本市の育英制度で若者の定住を図ることについて</p> <p>①毎年何人程度の申請があり、貸与しているか過去5年間の内訳を示せ。</p> <p>②現在(27年度)の貸与者の内訳を示せ。また、年間の貸与額は総額いくらか。高校、専修学校、大学等の区分ごとに示せ。</p> <p>③貸与者の卒業後については、どのようになっているか。市内就職者は何パーセントか。</p> <p>④市の育英制度利用者で市内に就職し、3年間居住した場合は、返還金の2分の1を免除するなど若者の経済負担軽減と市内定住を図ったかどうか。</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 研究公開授業と観光を合わせたおもてなしの取組みについて</p> <p>3. 歴史民俗資料館の資料収集状況と今後の計画について</p>	<p>帖佐小学校の外国語（英会話）の研究公開授業に対する本市の取組みについて、本年11月には文部科学省の認可を受けた帖佐小学校（全国で2校）が発表する予定である。県内外から多くの関係者、視察団が来校されると思う。</p> <p>（1）全国で2校と聞いているが、あと1校はどここの学校か。また、発表は1日限りか。どのような形でなされるのか。</p> <p>（2）この研究公開授業は本市をPRする絶好の機会である。市をあげて、おもてなしの取組みは考えないか。 （鹿児島マラソンは12月補正で対応された。）</p> <p>（3）バスなどの駐車場はどのように対応されるか。</p> <p>（1）県内一を誇る始良市の文化財や史跡を抱え、資料収集や情報発信、学習機会の拡充を図る館としての役目を十分果たし得る状況にあるか問う。</p> <p>（2）市内にある貴重な資料を収集、保管、展示する館としては手狭になってきていると思うがどうか。</p> <p>（3）観光と一体となった館の在り方や場所等を含め、今後検討すべき時期にきていると思うがどうか。</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p>